

保育園・小学校・地域の人と共にたのしい公民館づくり

加賀市立湖北公民館

湖北地区の概要

湖北地区は加賀市の最北端、小松市との市境に位置する六町からなる地区で、約七三〇世帯、二〇〇〇人が住んでいます。

湖北公民館は柴山潟の湖畔に位置し、晴れた日には、白山連峰を背景とした美しい柴山潟が眺望できます。このすばらしい風景は地区住民の自慢であり、四季折々の白山の姿に癒され、また災害が少ないのは白山のおかげと感謝しています。



加賀市立湖北公民館と杉の木

また、公民館の横には、昭和五十八年の全国植樹祭で昭和天皇が御手播きされた杉の木が、五メートルほどに成長して、地区のシンボルツリーとして、公民館を訪れた地区住民を出迎えてくれます。

公民館の近くには片山津ゴルフ場や片山津温泉があり、また、小松空港、北陸自動車道片山津インターチェンジ、JR北陸線の加賀温泉駅からも近く、立地的にはすべて十キロ圏内にあり、湖北地区は非常に便利な場所にあります。

公民館の取り組み

湖北公民館の取り組み事例として次の二点をご紹介します。

- 一. みんなで楽しい公民館
- 二. 三世代交流事業

一. みんなで楽しい公民館 (1) 概要

湖北公民館は湖北保育園の三才から五才の園児に農業指導を行っています。その目的として、食べ物に対しての感謝の気持ちを育てること、保育園との連携を推進することがあります。

この農業指導は地元農家や高齢者が伝統的に受け継ぎ指導を行っていましたが、六年前から公民館が引き継ぎ活動を行っています。

(2) 内容

保育園と連携、協力しながらカボチャやサツマイモ、スイカ等の苗植えや毎日の水やり、収穫を園児に指導しています。苗植え後、園児は毎日、畑へ行き、野菜の成長過程を観察しながら、農作業を行っていきます。



苗の植え方の説明を聞く園児



焼きいもを食べる園児と祖父母

収穫した野菜は、保護者をはじめ、地域の方々にも味わっていただき、収穫の喜びを共に分かち合っています。特に、サツマイモの収穫時には「焼きいもの会」を開催し、園児の祖父母が中心となり、粉殻を使ってサツマイモを焼きあげ、祖父母と園児と一緒に焼きいもを食べ、収穫を楽しむ世代間交流の場ともなっています。

(3) 成果

活動の成果として以下の四点があります。

- ① 食育の推進
- ② 自然の厳しさ、農作業の難しさを学ぶ
- ③ 公民館の利用拡大
- ④ 公民館と保育園等他施設との連携推進

①食育の推進

畑が広いので、様々な野菜を園児と一緒に育てています。収穫したスイカ、カボチャ、カモリは保育園でおやつなどに利用しています。特にスイカは大人気です。そのほかの野菜も、一生懸命育てた野菜とあって、残さず、最後まで食べきる気持ちが生まれています。

保育園では、収穫した野菜を使って園児がクッキングを楽しんでいます。育てた野菜を料理することで、野菜嫌いが克服されたという保育士からの嬉しい報告もあり、農業体験を通して、園児の食べ物に対する感謝の気持ちが出来、食育の推進にもつながっています。

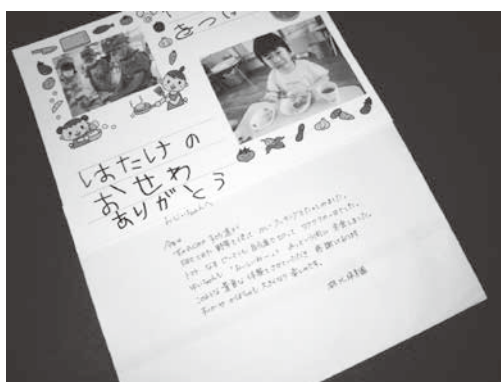
また、収穫した野菜を家庭を持ち帰り、家族と味わうことで収穫の喜びを分かち合う良い機会となっています。

②自然の厳しさ、農作業の難しさを学ぶ

夏の暑い時期の水やり、草むしりは、園児にとって、とても大変な作業です。また、野菜を育てる中で、害虫が苗を枯らしたり、ハクビシンなどの野生動物に、育てた野菜が食べられてしまうなどの被害があります。その被害を目の当たりにした園児は自然の厳しさや農作業の難しさ、大変さも学んでいます。

③公民館の利用拡大

収穫後は園児からの手紙や手作りのプレゼントが公民館に届きます。また、散歩途中に園児が公民館に立ち寄るなど、農作業を通して、公民館職員と顔見知りになることで公民館が親しみやすく、身近な場所になっています。



園児から公民館に届いたお礼の手紙

また、園児が収穫した野菜を家庭に持ち帰ることで、園児の保護者にも公民館事業を知ってもらい、良い機会となっております。公民館活動への理解が深まり、公民館の利用拡大にもつながっています。

④公民館と保育園等他施設との連携推進

農業指導を通じて保育園と公民館のつながりができ、公民館事業である敬老会の発表の場に園児が

出演したり、文化祭に園児の作品を出品してもらうなど、保育園と公民館の連携が深まっています。

敬老会では、園児のかわいらしい発表が高齢者には特に喜ばれます。また、園児の名前を紹介する時、住んでいる町名から始まり、敬老会の参加者のお孫さんと分かるように「○○さんの孫」と紹介しています。小さな地域だからこそ、みんな顔見知りの良さがあります。



敬老会でよさこいソーランを踊る園児

また、収穫した野菜は地域の学童クラブや障がい者施設等に配ることにつながりができ、公民館事業への理解が深まり、他施設との連携が深まっています。

(4)課題

今後の課題として以下の3点が

あります。

①後継者の育成

②対象者の拡大

③野菜づくりの技術向上

①後継者の育成

現在、公民館職員のほか、二、三名の地域の方々の協力を得て、活動を行っています。

この事業は湖北地区で伝統的に受け継がれてきた事業なので公民館が地元の協力者、後継者を育てながら今後も続けていきたいと考えています。

指導者、協力者からは、「園児でも理解できる説明の仕方を教えてほしい」といった声もあり、指導方法を学ぶ機会も必要であるとと考えています。

②対象者の拡大

現在、保育園児のみ農業指導を行っています。将来は小学校と連携した農業指導も行っていききたいと考えています。

③野菜づくりの技術向上

収穫の時に子ども達がびっくりするような野菜を育て、子ども達が驚きと感動ある農業体験ができるよう工夫を凝らしていきたいと考えています。そのようなめざらしい野菜を育てるためにも、指導者がそのノウハウを学び、技術の向上を図っていくことが必要であるとと考えています。

また、子ども達を感動させるためにも、指導する大人自身が毎日感動をもって指導にあたっていく必要があると感じています。

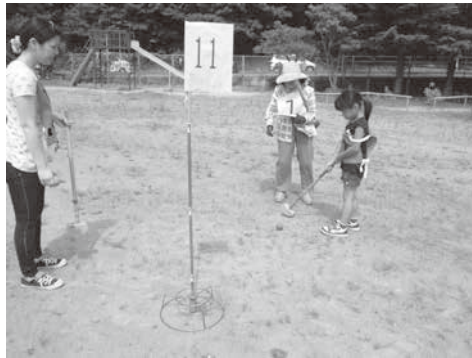
二．三世交代事業

(1)概要

湖北地区では、世代を超えた交流と健康促進を目的に三世交代で楽しめるスポーツ競技大会を年二回行っています。

(2)内容

毎年七月にグラウンドゴルフ競技大会、十二月にはペタンク競技大会を開催しています。



グラウンドゴルフ競技大会の様子

競技のチームの構成は祖父母、父母、子ども世代から世代別で三人のチームをつくり、家族と違うメンバー同士で力を合わせて競技を行います。

競技終了後には表彰式を行い「流しそめん」や「湖北なべ」を食べながら交流を行っています。「湖北なべ」は湖北地区で収穫された野菜を使った寄せ鍋で収穫の喜びを皆で共有しながら味わっています。

(3)成果

普段交流する機会が少ない世代がスポーツを通して交流することで、高齢者は若い世代や子どもから元気をもらい、子どもは家族以外の地域の人と接することで地域の活性化を持つようになり、地域の活性化につながっていきます。また、地域の人同士が顔見知りになることで防犯力が向上し、安心安全なまちづくりが促進されます。



競技終了後、湖北なべを楽しむ参加者

この三世交代交流事業をはじめ、公民館で行っている小学生が対象の年間行事には、毎回二名以上の湖北小学校の先生方に出席をお願いしています。先生方には、日頃の学校では見ることができない生徒の様子や地域の実情などを知ることで、地域に根差した学校運営の参考になると喜ばれています。

湖北小学校は湖北公民館の横にあり、小学校との情報交換を密に行うことで、地域に根差した公民館運営を行っています。

(4)課題

今後の課題として以下の3点があります。

- ①新規参加者の拡大
- ②各町の参加人数差の改善
- ③担い手不足の解消

①新規参加者の拡大

参加人数は年々増加の傾向にあります。参加するメンバーが固定化されています。そのため、新規の参加者を増やすことが課題です。スポーツが苦手な人でも参加できるような文化的事業を企画し、湖北地区の住民全員が参加できるような事業の開催が必要だと考えています。

②各町の参加人数差の改善

各町によって参加する人数に差があり、参加人数に偏りがでないように、各町対抗で参加人数が多

い町に賞品を贈るなどの工夫も検討中です。

③担い手不足の解消

活動を運営する上で、開催運営に携わってくださる方の確保が難しく、毎年苦勞しています。しかし、三十代、四十代のお父さんの参加が増えてきており、湖北地区の今後の担い手としての期待が高まっています。

最後に

わが地区も少子高齢化の影響で高齢者の割合が年々高くなってきています。

しかし、公民館事業に積極的に参加する地域性は、地域の方々の温かい人柄によるもので、公民館事業への参加人数が、年々増加傾向にあることは、本当にありがたい、嬉しく思っています。

また、公民館事業に対して、区長会をはじめ、多くの団体からのご理解をいただき、様々な形で運営にご協力いただいていることに深く感謝申し上げます。

今後とも、幅広く、様々な年代の方が楽しめる事業を企画し、地域の人と共に成長しながら、誰にでもやさしい公民館づくりをこれからも全力で取り組んで行きたいと思えます。